

(別紙5)

公共建築工事における積算チェックツールの実証実験 選考評価基準

No.	評価項目	評価の視点	大変 よい	よい	普通	やや 劣る	劣る
1	提案理由や主旨	・本事業における、現状の課題や本提案募集の目的を十分に理解しているか	5	4	3	2	1
2	ノウハウや創意工夫など	・提案者のこれまでのノウハウを活かした創意工夫のある提案になっているか	5	4	3	2	1
3	知識、能力及び実績	・提案者が提案内容を実施するうえで必要な知識や能力、実績等を有しているか ・公共工事の内訳書作成機能があるソフトウェア等の実績があるか ・公共工事の内訳書をチェックする機能があるソフトウェア等の実績があるか	5	4	3	2	1
4	実現性及び実施体制	・実現可能な提案内容及びスケジュールになっているか ・提案内容を継続的に遂行可能な体制になっているか ・連絡体制が明確になっており、迅速な対応ができるか	5	4	3	2	1
5	必須の機能の創意工夫	・必須の機能等を満たしたうえで使いやすさに工夫がみられるか ・必須の機能等にプラスの機能を付加しているか	10	8	6	4	2
6	任意の機能等の創意工夫	・任意の機能等または本市の課題解決に資する機能が提案に含まれているか ・インターフェースに工夫がみられるか ・拡張性を考慮しているか	20	16	12	8	4

提案採用予定者の選考	ア 評価項目ごとにその考え方が一定程度盛り込まれている場合の標準を「普通」とする イ 提案採用予定者は全委員の評価点の平均で決定することとする（50点満点） ウ 提案採用予定者を決定するための基準点（下限）は、30点とする エ 全委員の評価点の平均が同点だった場合は、「6 任意の機能等の創意工夫」の得点が高い者を上位とする オ エで同点となる者が複数いる場合は、「4 実現性及び実施体制」の得点が高い者を上位とする。 カ オで同点となる者が複数いる場合は、委員の協議により順位を決定する。
------------	---